

2020 ふくい 里フォーラム

— 実践から研究まで —

福井県では、様々なテーマで、里山里海湖の利用と保全の「実践」と「研究」が行われています。これらの取組みについて知り、みんなで自由に情報交換するための発表会の第4弾を開催します。今回は、**里山里海湖の食をとおした地域づくり**に焦点を当てます。一緒に“ふくい 里”について考えましょう！

令和2年3月14日（土）

13:30～17:00（13:00開場）

リブラ若狭2階・研修室（定員60名）

〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央1-2 ☎0770-45-2222

入場無料



(1) 話題提供

● 九頭竜川のアラレガコ伝統文化～伝統漁法から食文化まで～

田原 大輔（福井県立大学海洋生物資源学部・准教授）



【講師紹介】

海なし県の岐阜県で生まれ、心底ずっと淡水魚に惹かれ、福井県に来てから念願の淡水魚“アラレガコ”の研究にたどり着いた。九頭竜川のアラレガコ食文化を活かして、九頭竜川の河川環境保全に向けた研究も展開している。川と海のつながりの重要性を認識し、カジカ類・アユ・サクラマスなどの通し回遊魚を指標として、小わざ魚道の設置など河川連続性の回復を目指した研究にも取り組んでいる。“県内の河川湖沼すべてが調査フィールド”をモットーに、地域に密着し、地域に還元できる研究を志している。専門は、魚類の繁殖生理生態学。博士（水産科学）

(2) 活動報告

● ～小浜ならではの「食」で地域を元気に！～

畑中 直樹（小浜市産業部農林水産課 食・地域創生戦略室・室長）



● ドジョウは地域おこしの起爆剤となるのか？

～どじょうレストランの取り組みから～

野村 みゆき（越前市エコビレッジ交流センター・主任）



(3) 意見交換「これからの取組み—未来のふくい 里に向けて—」

県内外の市民やNPOなどの団体、研究者の皆様の参加を募集します！

〔参加申込み〕

■ 当日参加可（定員60名） * 事前のお申込にご協力ください

■ 会場案内

「リブラ若狭」 * 若狭町役場三方庁舎の隣（東側）

〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央1-2

☎ 0770-45-2222

・ JR三方駅より徒歩15分

駅舎の入口を出たところにある地下道を通り、駅の西側の道路からご来場ください。

・ 無料駐車場あり

建物入口の正面（北側）と若狭町役場三方庁舎の南側の駐車場（図中の灰色の場所）をご利用ください。

* 交通についてご相談があれば、ご連絡ください。



〔活動報告の発表者紹介〕



畑中 直樹（小浜市産業部農林水産課 食・地域創生戦略室・室長）

小浜市農林水産課で、鳥獣被害対策や「鯖、復活」プロジェクトの立ち上げに従事し、業務の傍ら、狩猟免許と小型船舶操縦免許を取得。鳥獣被害対策では、ジビエ給食の採用にも取り組んだ。現在は、食・地域創生戦略室で、食と第一次産業を活かした地域創生に向けた業務に従事している。取り組む対象は海から山までであり、また、次世代につなぐ取組みとして小学校の総合学習を推進している。



野村 みゆき（越前市エコビレッジ交流センター・主任）

鯖江市生まれ。2001年に越前市（旧武生市）エコビレッジ交流センター開所と同時に指導員として勤務。幼・保・小・中学校や宿泊施設での勤務経験を活かして、環境学習や地域づくりに取り組んでいる。2014年内閣府の地域活性化伝道師、2015年福井県ふるさと研究員、2018年福井県アースサポーターとして登録。2016年（平成28年）さかのくち活性化協議会の事務局長として農水省の「農山漁村振興交付金事業」に取り組み、5年目。

お申込・お問合せ先

* お名前・ご所属（またはご住所）・ご連絡先・参加人数をお知らせください。

福井県里山里海湖研究所

〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜 122-12-1

☎ 0770-45-3580 FAX 0770-45-3680 Email : satoyama@pref.fukui.lg.jp

フォーラムの情報 : <http://satoyama.pref.fukui.lg.jp/feature/marusatoforum>

* 令和2年3月9日（月）に「プログラム要旨集」を公開予定